

出会いの瞬間 (後期)

今回の出会いの瞬間は『四年生のおすすめ』というところで、その中から、私のおすすめの本について一冊紹介します。

『殺人よ、やよろなら』 赤川次郎

三年前の事件から久しぶりに別荘を訪れた有紀子。様々な思い出を抱えながら、昔のように母と親友の聡美とともに、穏やかなひと夏を過ごすはずでしたが……。

私がこの作品の中で最も好きな人物は主人公の有紀子です。お金持ちの家に生まれ、庶民とずれた感覚の持ち主なのですが、それ以上に彼女を常人離れして見せているのが、年齢とかけ離れた考えが垣間見えるところです。大人の恋愛関係に異様な鋭さを発揮したり、大人を子どもらしい態度で自由に動かしたり、「少女らしさ」と「大人らしさ」を自由に操る様子が、将来どうなってしまうのか不安にさせられつつも心惹かれます。

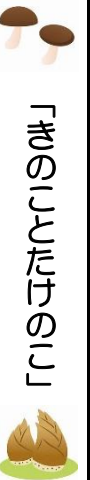
三年前、恋愛に夢中な人間たちをあまりにも引いた視線から眺めていた彼女ですが、今作は……？

しかしここまで紹介しておいてなんですが、この作品の前作、三年前の事件が語られる『殺人よ、こんにちは』は、実は現時点(10/16)本校の図書館には置かれていません。学級文庫においてあるクラスもあるようで、より一層なぜ二作目だけが置いてあるのかという謎が深まっています。

ぜひ前作から読んでもらいたい作品なので、気になった方は『殺人よ、こんにちは』も一緒に調べてみてください。

(四年)

「あの頃の僕」



このエッセイを担当するに当たり、ここに目を通している人は果たしているのだろうか。いや、いや、(反語)という結論に至った。というわけでは書いても怒られることはないだろう。(5)五年図書委員女子)こっそりふ楽しい話題を書こうと思う。木曜昼休み、図書館職員室に窓口業務の為、集まった私たち。「きのこの山派かたけのこ里派か」という話題が上った。ちなみに私はたけのこ派である。たけのこ派の圧倒的勝利の体で話を進めていたが、相手はきのこ派だったので念のため図書委員に急遽アンケートを取ることにした(というか取った)。

はじめはたけのこ3対きのこ1という幸先のいいスタートだったが途中でなんとたけのこ4対きのこ6とまさかの逆転。しかし最後にはたけのこ対10きのこ8というたけのこ圧勝という形で勝負を収めた。(あくまでたけのこ派の所感です。)様々な意見がある中、5年J君は一気にくわえられるため、きのこ派だと述べられていた。ありえない。なぜ1本ずつ食べないのか。しかし最も理解し難いのは、「どちらでもよいがどちらか」とだけ「この派」という意見だ。しかもこれが多数。ありえない。もっとちゃんときのこ・たけのこ論争を見つめてほしい。筆者はたけのこ派が図書委員の多数を占めるようになるために毎週木曜日の日はたけのこの里を委員に配ろうと思う。注：学校に学習活動に必要なものを持ち込みはできません

『愛媛のキノコ図鑑』

(五年)

新刊紹介

- 『数学序説』 吉田洋一
- 『The Pen』 池田学
- 『人間の建設』 岡潔・小林秀雄
- 『幾何への誘い』 小平都彦
- 『いのちを刻む』 木下晋
- 『死』とは何か? シェリー・ケイガン
- 『ムダな努力はない』 鍵山秀三郎
- 『音楽と数学の交差』 桜井進・坂口博樹
- 『なぜ僕は働くのか?』 池上彰
- 『何もかも憂鬱な夜に』 中村文則
- 『フェルマーの最終定理』 サイモン・シン
- 『知っていますかSDGs?』
- 『走って悩んで見つけたこと』 大迫傑
- 『日本人は何を考えてきたのか』 斎藤孝
- 『鴉外の恋 舞姫エリスの真実』 六草いちか
- 『はじめての木彫り動物手習い帖』 はしもとみお
- 『数学オリンピックピック 2015 - 2019』
- 『ジュニア数学オリンピック 2015 - 2019』 数学オリンピック財団
- 『超一流の指揮者がやさしく書いた合唱の練習メニュー』 黒川和伸



出会いのワゴン (前期)

十月に入ってレシテーションコンテストの練習が始まりました。中間審査も終わり、期末審査に向けて自学!! 今回のテーマは『勉強の秋』お勧めの本をご紹介します!

『ざんねんな偉人伝』 高山 知幸

野口英雄やエジソンなど皆さんが知っている偉人の秘密や偉人のウソ・ホントが分かるみんなが笑って楽しめる! 偉人を覚えるのが苦手の人にはピッタリ! 偉人が好きになるかも!

『頭にやさしい理科系雑学』 竹内 均

科学! 物理! 生物! これらのちよつとした謎を知ることができるのがこの一冊!! 身近なものから意外なものまで詳しくなれる! 勉強だけでは触れることのできない理科の楽しみをぜひ味わって下さい!!

『博士の愛した数式』 小川 洋子

家政婦の私が、記憶が80分しかもたない、数学博士の家政婦に。その博士と暮らしていくうちに、私は数学に対して何かを抱くようになる。息子の「ルート」も加わり、数学について学んでいく。笑いあり、涙ありの、数学物語。数学が苦手な人も是非読んでみて下さい。

『自分で学ぶひと』 鷺田 小彌太

勉強しても身に付かない……。それは「学び方」が悪いのかも! 学び始めから就職まで、この一冊ですべてが変わる! 新しい学び方に変えてみませんか?

(一年)

将来を見つめて

毎年、二年生は職場体験がありますが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、中止となってしまいました。しかし、図書館には、様々な職業についての本があります。それらの本を読んで、夢を広げてみるのも良いかもしれません。

そこで、今回は「なるにはbooks」について紹介します。「なるにはbooks」には、仕事の実際からなり方までの詳細が書かれています。各巻は、三章で構成されており、まず第一章には、ドキュメントと題して、今、その職業に就いている先輩の仕事にける熱意や誇り、苦労したこと、楽しかったこと、自分の成長につながったエピソードなどが掲載されています。次に、第二章では、職業の成り立ちや社会での役割、必要な資格や技術、将来性などが紹介されています。最後の第三章には、適性や心構え、資格の取り方、進学先など、どのようにその職業になるかが具体的に解説されています。また、シリーズとして、大学学部調べや、関連する複数の職業について書かれた補巻があります。

また、県西の図書館には、「なるにはbooks」以外にも、「大人になったらしたい仕事」シリーズ、「わたしの仕事」シリーズ、「仕事の図鑑」シリーズなど、様々な職業についての本があります。ぜひ、手に取ってみてください。

(二年)

新刊紹介

『なまえのないねこ』

文：竹下文子 絵：町田尚子

『ぱんつさん』

作：たなかひかる

『くろいの』

作：田中 清代

『金の鳥』

文：八百坂洋子 絵：さかたきよこ

『あのねこは』

文：石津ちひろ 絵：宇野亞喜良

『くもとそらのえほん』

作・絵：五十嵐美和子 監修：武田康男

この度、第25回日本絵本賞実践モニター校に選ばれ、6冊の絵本が寄贈されました。絵本は、幼児・児童を対象にしたものだと思われがちですが、対象は広く、取り扱うテーマも科学・人権など様々です。本校図書館の7類の本棚にも名作・新作・卒業生の著作など、様々な絵本があります。

読み聞かせてもらった頃を思い出すのもいいし、改めて読み直すと新しい発見もあるでしょう。

(三年)

第2回読書会のご案内

日時 10月29日(木) 16時20分
場所 図書館



テーマ『POPをCONNECT』
今回寄贈された絵本を利用してPOPを作成する内容です。
たくさんのご参加お待ちしております。

編集後記

日本語が好きだ。「千年後の百人一首」を読み返すたびそう思う。清川あさみと果実タヒの作品が百首とともに印刷されている本で、何度読んでも心震える。日本語を好きでよかった。日本語の美しさを理解できる人間でよかった。そして何より、それを共有できる人がいてうれしい。

図書館を通じて知り合った友人たちは、ジャンルも部活もクラスも違うけど、みんな本が好きだった。自分と同じくらい本に熱を上げている人になんて初めて会ったから、彼女たちと話すのは新鮮で何よりも楽しい。

前委員長から引き継いで約一年、私が編集後記を書かせていただくのもこれで最後になる。最後だから感謝を伝えなかった。今更にはなるが、図書館に来てくれてありがとう。こんな隅のコーナーにまで目を通してくれてありがとう。これから、本によって繋がれる縁があり続けてほしいと思う。

(委員長)

